

ID No.111	
研究課題名	肝臓移植における新たな免疫制御療法の開発
研究代表者	高木 章乃夫 (岡山大学・講師)
研究組織	
受入教員	渡辺 信和 (東京大学医科学研究所)
研究分担者	八木 孝仁 (岡山大学)
研究報告	
<p>現在までに、肝移植後患者末梢血を用いたTregおよびアロ特異的CD4陽性T細胞分画定量、マイクロキメリズム解析、HCV特異的免疫応答解析方法を確立し、解析が可能となっている。キメリズムについては移植後1年以上経過した症例では、非常に微量となっていることが明らかになった。移植後早期のキメリズム解析では、細胞の種類に関係なく2週目まではキメリズムを伴うことが明らかになった。HCV抗原特異的T細胞応答については移植後C型肝炎20例の解析を行い、T細胞応答が強力な症例で、肝炎活動性が低い可能性があることが明らかとなり、制御性T細胞のうち、Tr1細胞がウイルスは存在するが肝炎は落ち着いている症例が多いことが明らかになった。</p>	